

アンタンブラタッチ
取扱説明書

AntumbraTouch

PATPA

工事店・電機店様へ

工事が終わりましたら、この取扱説明書はお客様へ必ずお渡しください。

お客様へ

この取扱説明書は必ず保管してください。

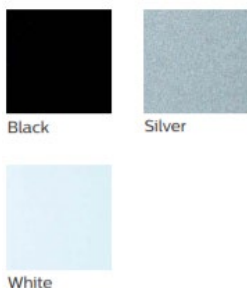
器具定格

製品コード	入力電圧	入力電流	プロトコル	保護等級
PATPAxx	12~24VDC	35mA (12VDC時) 20mA (24VDC時)	DyNet	IP22

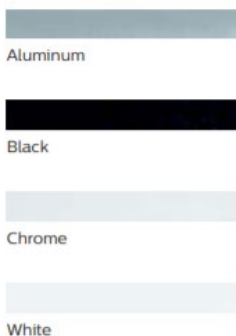
仕様

使用環境	屋内専用
使用環境温度	-5~50°C
IP(防水・防塵性能)	IP22
色	ブラック、シルバー、ホワイト

Fascia finishes



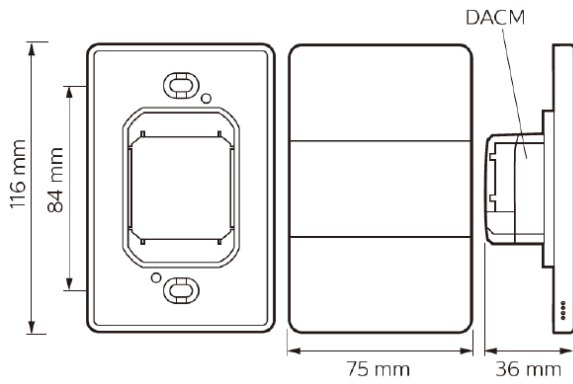
Rim finishes



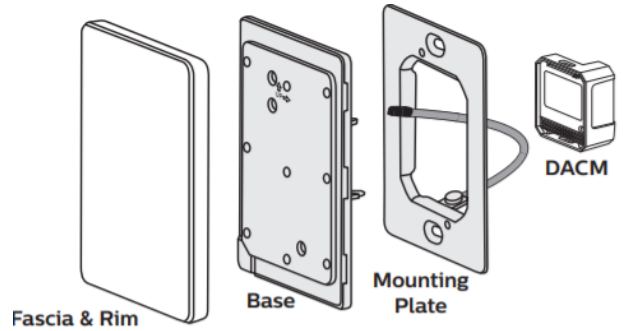
使用上のご注意

- 施工は、取扱説明書に従い確実に行ってください。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 振動のある場所、湾岸隣接地域、浴室や塩素を使用した屋内プール等では使用しないでください。腐食による器具落下や絶縁不良による感電、火災の原因となることがあります。
- 合板やベニヤなどの柔らかい木材には取り付けしないで下さい。取り付けなどの不備がありますと落下の原因となることがあります。
- 定格電圧±10%の範囲外で使用しないでください。短寿命、火災の原因となります。
- 器具を水洗いしないでください。またシンナー、ベンジン、アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤で拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- 異常を感じたらすぐに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。
- 別売品の通信モジュール(DACM)が必要です。通信モジュールには論理機能とネットワーク機能が含まれており、オフサイトで事前にプログラムできます。

器具寸法



付属品: パネル&フチ、ベース、取付プレート
別売品: アンテナブラコミュニケーションモジュール

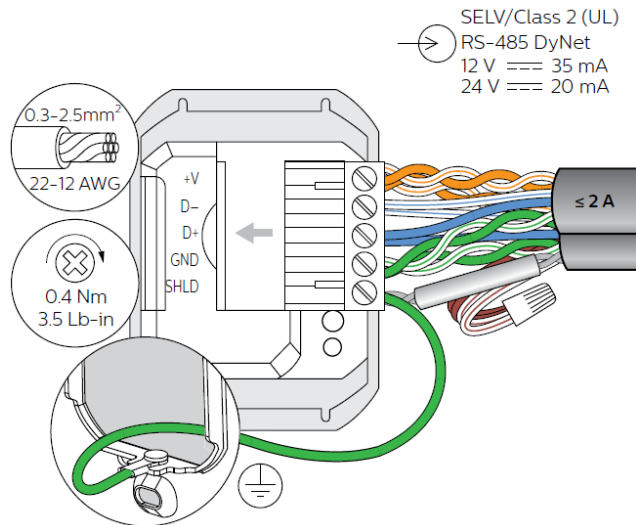


別売品 : 製品コード

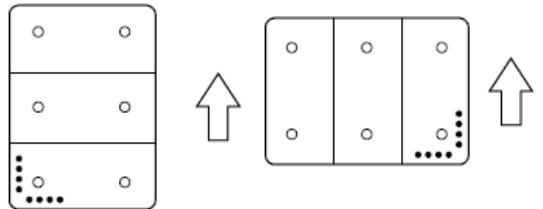
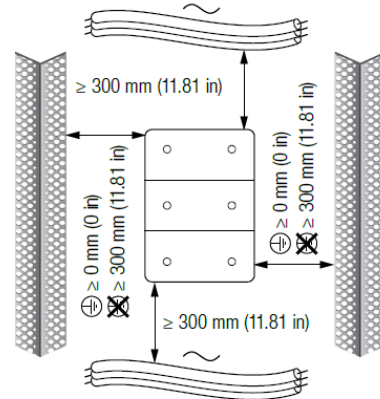
DACM-DyNet

器具の取り付け方

1 配線方法



2 設置場所



注意事項

過負荷保護機能が組み込まれた承認済みのDyNet電源のみを使用してください。
通信モジュールをアプリケーションモジュールに接続する前にDyNetを切断します。

3 取付方法

ベースユニットの設置

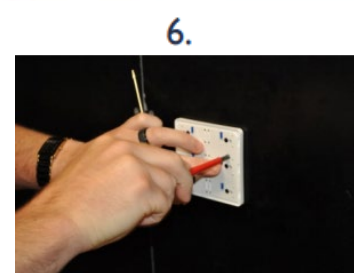
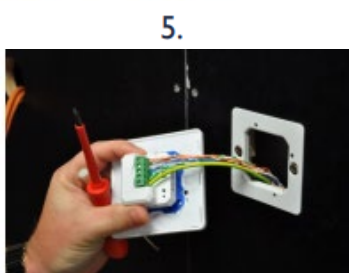
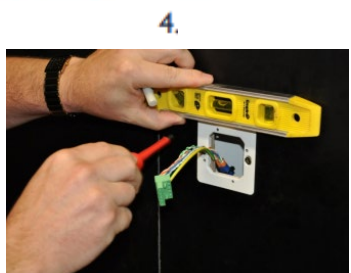
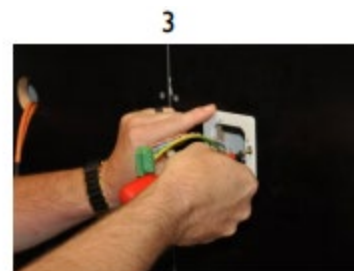
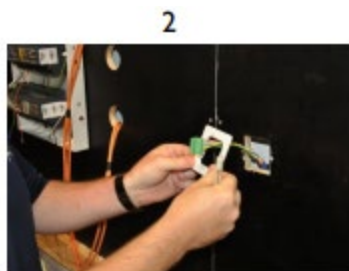
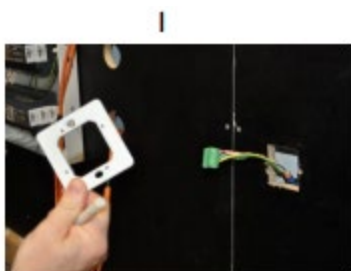
通信モジュールとアプリケーションモジュールは、位置決めピンを合わせるとロックされます。アプリケーションモジュールの位置を通信モジュールの位置決めソケットとあわせませす。



壁に直接取り付けをする場合は使用する場合、ベース取り付けネジのくぼみ位置にプレートが干渉しないように壁にミゾを掘ってください。

壁の内寸は少なくとも33 mmの奥行きを確保してください。

1. 取り付けプレートは、位置決めタブを壁に取り付けて取り付ける必要があります。
2. ネットワークケーブルとコネクタプラグを取り付けブラケットに通します。
3. 必要に応じて、プレートを垂直方向または水平方向に取り付けることができます。長い付属の取り付けネジを使用して、取り付けブラケットを壁に固定します。インストーラーは別のネジをつけるとパネルを損傷する可能性があります。
4. 取付板が水平であることを確認し、必要に応じて調整します。
5. フェニクスコネクタをアプリケーションモジュールに接続します。
6. パネルアセンブリを取り付けブラケットに押し込みます。取り付け穴に2つの小さいネジを使用して取り付けます。パネルのレベルを再確認し、必要に応じて調整します。



3 取付方法

ボタンの設置・設定

必要としない場合は個々のボタンを無効にすることができます。
青色のスイッチをオフに設定して、未使用のボタンの機械的動作を無効にします。



必要に応じて正しいボタンが有効または無効になっていることを確認した後、各ボタンをアプリケーションに慎重に合わせます。
カチッと音がするまでボタンの中央、両側を押す。
正しく取り付けられて、有効なボタンを押すと、滑らかなクリック感が得られます。もし有効になっているボタンを押しても正のクリックがない場合は、障害物がないか確認してください。








安全上のご注意














この器具をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みになり、安全上の注意事項を十分にご理解のうえご使用ください。

■表示の危険度区分は以下の通りです

■図記号の意味は以下の通りです

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの
	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害や物的損害に結びつく可能性があるもの

	禁止		厳守		感電注意
	分解・修理 改造はしない		必ずアース線を取付ける		ケガに注意
	触れない		必ず電源を切って行う		注意

 警告	 注意
<p> 電気工事は電気工事店(有資格者)にお任せください。一般の方の取り付けは法律で禁止されています。施工は取扱説明書に従い確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。屋外で結線する場合には防水・絶縁処理を確実に行ってください。不完全な場合、感電・発火・器具不良の原因となります。</p>	<p> 前面レンズにかけやひび割れが発生しているものは使用しないでください。破損・落下の原因となります。レンズ表面についた傷やレンズの中に残存する異物の体積変化により、外力が加わらなくてもごく稀に破損することがあります。(社団法人 建築業協会)</p>
<p> 配線工事、器具の接続または取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。感電・火災の原因となります。</p>	<p> 定格使用温度帯で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、部品劣化による短寿命や光束低下の原因となります。照射面側、本体側を密閉しないでください。短寿命の原因となります。器具を布・紙などの可燃物で覆ったり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災の原因となります。器具の最大取付高さは12mです。</p>
<p> 水没する場所や水中で使用しないでください。感電・故障の原因となります。本器具重量に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。不備がありますと落下の原因となります。</p>	<p> 点灯中の器具の近くで長時間の作業を行ったり、器具を直視したりしないでください。器具の点検や交換が不可能な場所には設置しないでください。</p>
<p> アース工事は電気設備の基準に従い確実に行ってください。感電・火災の原因となります。</p>	<p> 点灯中や消灯直後は、前面レンズや放熱フィンが熱いので絶対に触らないでください。やけどの原因となります。</p>
<p> 濡れた手で器具を触らないでください。感電の原因となります。</p>	<p> 器具の改造や部品の変更は行わないでください。故障・落下・感電・火災の原因となります。</p>
<p> 配線する際など電線に張力をかけないでください。断線による感電・火災の原因となります。</p>	

保守・その他の留意点

設置後8~10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯 JIS C8105-1 解説による) 6か月に1回は右記の手順に従って自主点検を行ってください。点検せずに長期間使用し続けると、稀に発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。器具のお手入れは、柔らかい布に水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を含ませ、絞ってから吹いてください。シンナーやベンジンなど揮発性の高いものや化学雑巾は絶対に使わないでください。

点検

安全のため「安全チェックシート」に基づき自主点検を行ってください。安全チェックリストは社団法人 日本照明工業会より発行されています。3年に1回は工事店などの専門家による点検を受けてください。

シグニファイ ジャパン 合同会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-9-5 SGテラス8F / ライティング サポートデスク 050-5577-9379 (9:00-17:00)